

3. 民需・外需獲得に向けた課題

宇宙利用サービス

- 宇宙利用マーケットの拡大促進に際しては欧州Copernicus(リモートセンシング)、Galileo(衛星測位)、ARTES(商用衛星通信)のプログラムに見られる通り、利用を統括する専任組織による長期的・継続的取り組みが必要
- 宇宙利用拡大に向けた日米連携、日欧連携の推進も重要



- また、内閣府SIP(Strategic Innovation Promotion Program)において、宇宙利用に関する各種検討が行われている。SIP等との連携による安全安心に資する、新たな宇宙利用実証の推進、拡大が必要。
 - ・自走走行システム：準天頂利活用による3次元地図整備、準天頂情報の利活用検討
 - ・レジリエントな防災・減災機能の強化：観測衛星活用による災害状況把握、地図作成
 - ・インフラ維持管理・更新・マネジメント技術：観測衛星活用による変化抽出、変位計測 等

4. まとめ

我が国宇宙機器産業の課題解決に向け、下記取り組みが重要

- 産業基盤維持・発展に向けたベースロードの確保、契約制度見直しによる投資の好循環の実現
- 戦略的開発・実証の定常実施
民需・外需獲得に向けた戦略的な開発・実証の定常的実施
- 調査・戦略立案組織の設置
衛星機器、地上機器、衛星利用サービスにおける民需・外需取り込みに向けた調査・戦略立案を行うための仕組み確立
- 新たな宇宙利用の開拓
安全安心に資する新たな利用を開拓、SIP等との連携強化、日米連携、日欧連携による利用の開拓・推進